

湊公園からの遠望(画:清水喜輝氏)



インスピレーション
になろう

WEEKLY REPORT

No.2940 2018年11月5日

事務所 ひたちなか市海門町二丁目8-13 ひたちなか商工会議所那珂湊支所内
 TEL.029(263)7811 例会日 毎週月曜日 12:30
 FAX.029(263)6859 例会場 常陽銀行湊支店二階会議室
 URL : <http://www.nakaminato-rc.com/>

四つのテスト

The Four-Way Test
 言行はこれに照らしてから
 Of the things we think, say or do

1. 真実かどうか
 Is it the TRUTH ?
2. みんなに公平か
 Is it FAIR to all concerned ?
3. 好意と友情を深めるか
 Will it build GOOD WILL and BETTER FRIENDSHIP ?
4. みんなのためになるか
 Will it be BENEFICIAL to all concerned ?

★ 点 鐘

磯崎久喜雄副会長

★ ロータリーソング

「奉仕の理想」

司会 川崎 通夫SAA

★ 出席 報 告

岡田 勝	委員長
会 員 数	25名
出 席 者	11名
欠 席 者	13名
出席免除者	1名
メークアップ	0名
出 席 率	45.8%

★ 会 長 挨 捶

磯崎久喜雄副会長

代わって挨拶をしろということですので挨拶させて頂きます。このところ大変良い天気で、先々週コキアを見に行ってきました。個人的に行つたのではなくてロシアのテレビ局が、茨城県を視察に来るので、そのためにお魚市場とか海浜公園とかが視察の対象になっておりました。その案内役を仰せつかりました。なぜ案内役を仰せつかったかといいますと、私、ロシアとの関係が大変古くからありますし、大正13年にポン



ポン船で湊から水戸に通った家の母親が、大町女学校を出てからロシアの大尉のところに就職したわけであります。天羽英治というロシア大使なんですが、この人は結構大物の外交官で、日独伊三国軍事同盟の駐イタリア特命全権大使などもした方です。その大使館で当時生まれたばかりの子どもの養育係みたいな形で働いておりました。子どもを抱えてオペラを見に行ったり何かして、当時としてロシア、ソビエトに旅行することは珍しい、ましてやソビエトに何年も住んだという経験がありました。その母親からいろいろロシアのこと、ソビエト時代の話を長年聞いておりました。私も北方領土を求める茨城県民会議30周年を記念して、たまたま県議会の議長だったこともあって、ロシアを

訪問しました。当時原田大使という方が、私の師であります赤城宗徳先生ですが、外務省に入った当時に赤城農林大臣と何度も会っているという話になり盛り上りました。その時の井出敬二という方が、現在外務省のロシア担当の特命全権大使ということになっております。その井出大使のつてで、この度ロシア・ビジネスセミナーというのを県の主催で今月12日に県庁の会議室でやることになりました。それにつけても、外務省と宮内庁というのは一般国民になかなか手が届かない、県庁職員と言えども通じないことが多かったものですから、ビジネスセミナーをやって、理解を深めて来年にはロシアビジネス訪問団という輸出促進訪問団みたいなことを結成するような予定になっております。



ロシアのテレビ局が来まして、水戸の明利酒類がジャパニーズ・ウォッカ「和ウォッカ」というのを作りました。後は会員でもあります鬼澤さん、幸田商店さんの「干し芋」をテレビ局に紹介しました。ともにロシアに輸出したいという企業でございますが、輸出促進協議会というのが96社茨城県にあるのですが、その様な方を対象にセミナーを開催いたします。まだ正式な資料等は印刷してはございませんが、当日までには用意できるのではないかと思います。

また、湊にあります反射炉も考えてみると、アメリカの鯨油を狙った捕鯨船、そしてチャーチに代表されるロシア船、ソビエトの脅威とアメリカの脅威、そういうしたものに対して「夷狄(いてき)=外国人」を打ち払おうと、こういった感覚で作られたわけであります。湊公園にも賓賓閣も迎賓館とは言いながら防衛のための一つの拠点として位置づけもあったというように聞いております。大きく時は変わり、今の状況はまた全く違ってはいます。北方領土についての所感というのがありますが、今日は控えさせて頂きます。この辺で挨拶の代わりにしたいと思います。ありがとうございました。

★委員会報告

国際奉仕委員会

磯崎 孝委員長



国際奉仕委員会から報告致します。15日に予定通り、台湾の基隆クラブの65周年の記念式典に行って参ります。会長始め黒澤さんと私と3名で参加と言うことになります。

社会奉仕委員会

常盤 昌敬委員長



社会奉仕委員会から報告とご連絡がございます。まず先週のボウリング大会です。入所者を対象にボウリング大会が行われ、成功裏に終わりました。福祉協議会会长の本間源基様よりお礼状が届いております。私は初めて参加したのですが、入所しているだけあってある程度自立している方々、競技の方も華麗なフォームで投げる方と、ただ投げる方と様々でしたが、楽しくできたかなというところです。今年で3回目だったのですが、継続的事業とするのかは次年度会長・幹事、社会奉仕委員長含め検討されれば良いのではないかと思います。

このたびは、私があなたまる普請をお寄せ下さい。まことにありがとうございます。
お預かりいたしました御書は、「第3回ボウル大会」と「社会奉仕委員会設立セレモニー」の御書では、会場の備びの設備と運営によって、大いに喜んでいます。
お預けいたしまして、お手に取る際は、必ず手洗いをしてください。お手洗いの手洗い場所は、各部屋に設置されています。
お手洗い場所
ひきうちだれ会員会員
会員会員



以上が報告で、連絡は来週の月曜日なのですが、来週は例会の後、はまぐく清掃の奉仕活動がありますので、ここで昼食後、作業ができますようふさわしい服装で来ていただければと思います。湊一小の3年生50数名も参加ということで川崎さんからちょっととしたプレゼントも用意されているとのことですので、皆さんのご参加、ご協力よろしくお願ひいたします。

ニコニコボックス委員会

岡田 勝委員長

磯崎久喜雄会員……昨日、定員130名の認可保育園が来年4月開園に向けて上棟式を行うことができました。ありがとうございます。

磯崎 孝会員……来る15日から基隆ロータリー65周年に行って参ります。

黒澤 利勝会員……月例ニコニコです。

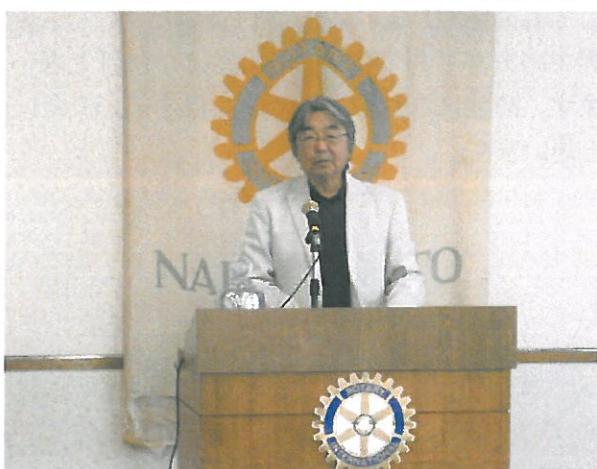
川崎 通夫会員……会員いつも欠席で申し訳ございません。

根本 博会員……月例ニコニコです。

★卓 話

「ロータリー財団月間に因んで」

根本 博委員



今日はロータリー財団についての話ということなのですが、本来なら海後委員長、安藤副委員長がここに立つわけなのですが、お二人とも欠席ということですので私がお話ししたいと

思います。

資料をお配りしてあるかと思いますので、それに沿って話していきたいと思います。

【ロータリー財団は、皆さまからのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています】

創立以来100年間、私たちの財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額30億ドルの資金を提供してきました。

一つひとつのご寄付により、世界中の地域社会を少しづつ変えていくことができます。

◇ ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

◇ ロータリー財団に寄付する理由

ご寄付の90%以上が、奉仕プロジェクトに直接生かされます。私たちは透明性を重視し、責任ある資金管理を行っているため、安心してご寄付いただけます。

…ということですので、是非ロータリーにご寄付お願いしたいと思います。

◇ ご寄付はどのように活用されるか

世界に35,000あるクラブは、発展途上国にきれいな水をもたらし、平和活動に携わる人材を育成するなど、世界中で持続可能な影響をもたらしています。ポリオ撲滅活動においても、予防接種活動を通じて発症数を世界で99.9%減少させてきました。皆さまからのご寄付は、こうした活動に大切に活用されています。

◇ ご寄付が世界にもたらす影響

わずかなご寄付で、一人の命を救うことができます。一人の子どもをポリオから守るために必要なワクチンのコストは、わずか60セント（約70円）。さらに、ロータリーがポリオ撲滅に投入する資金に対してビル＆メリンド・ゲイツ財団が2倍の額を上乗せするため、ご寄付が3倍になってポリオ撲滅活動に生かされます。

…ポリオに関しましても100%撲滅には時間が掛

かることを聞いております。現在99.9%ということであと0.1%なのですが、なかなかその先に行かない。そういったことも含めまして目標達成のためご寄付をよろしくお願ひしたいと思います。

また、ロータリーの活動分野ということで6項目ございます。

- ・平和の推進
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・教育の支援
- ・地域経済の発展
- ・疾病との戦い

「平和の推進」についてですが、

「毎年紛争と暴力によって数百万人が家を失い、故郷を追われています。紛争で命を落とす人の90%が罪なき一般市民で有りその半分が子どもです。この用の状況を私達は絶対に受け入れません。ロータリーは異文化交流を通じて相互理解の心を育み、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界作りを推進しています。」ということです。

次の「水と衛生」ですが、

「安全な水と衛生設備の利用は全ての人が持つべき権利。なのに汚染水で病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。未来を担うはずの子ども達は水くみなどの労働によって学校に通えず辛い境遇を強いられています。」

「地域経済の発展」ということで

「雇用されているにもかかわらず、一日にわずか1ドル90セント、約220円で暮らしている人の数は世界で約8億人。ロータリーは貧困問題に持続可能な解決策をもたらすために活動しています。」

続いて「疾病との戦い」ということですが

「誰にとっても健康であるということは何よりも大切。でも基本医療を受けられない人は世

界で4億人と言われています。質の高い医療を受ける権利は全ての人にあると私達は信じています。」

付則として

「世界で数百万人が病気によって苦しみ貧困を強いられています。私達が疾病の予防と治療に力を注ぐのはこのためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会、仮設クリニックや献血センター、研修施設を作ったり医師と患者と政府が協力してできるインフラを設計するなど世界中のロータリー会員は人々がよりよい医療を利用できるよう支援しています。」

「マラリアまたHIV（エイズ）、アルツハイマー、多発性硬化症、糖尿病、ポリオなど、人々を苦しめる病気の予防、治療や患者の支援に当たっている会員も大勢います。衛生教育のほか、無料の定期健康診断や眼科・歯科検診も行っています。」

もう一つロータリーはこんな活動をしていますということで、

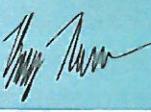
「病気は何もせずに予防できるものではありません。命に関わる病気の蔓延を食い止め、予防を徹底するために私達ロータリー会員は医療従事者への研修、病気・衛生習慣に関する市民への指導、世界で毎日数百ものプロジェクトを実施しています。」

…ということなんですが、ロータリ財団では、今申し上げたいいろいろなことを日々行っています。我々にとってはこのロータリー財団、あまり関連のないような気がします。しかし、少しでも気持ちがあれば、寄付をして少しでも世界中の方が平和で暮らせるようになればと思います。時間になりましたので、話を終わりたいと思います。



インスピレーションになろう
Be The Inspiration

2018-19年度国際ロータリー会長
バリー・ラシン



「出席はロータリアンの3大義務の1つです」